

市川海岸塩浜地区護岸改修事業の実施状況について

平成 20 年 6 月 13 日

県土整備部河川整備課

1、平成 19 年度の実施結果について

平成 19 年度の実施計画としては、塩浜 2 丁目 350 m 区間の工事及びこれに伴うモニタリング調査ですが、予定された工事を本年 3 月までに完了し、モニタリング調査を 4 月までに完了したところです。

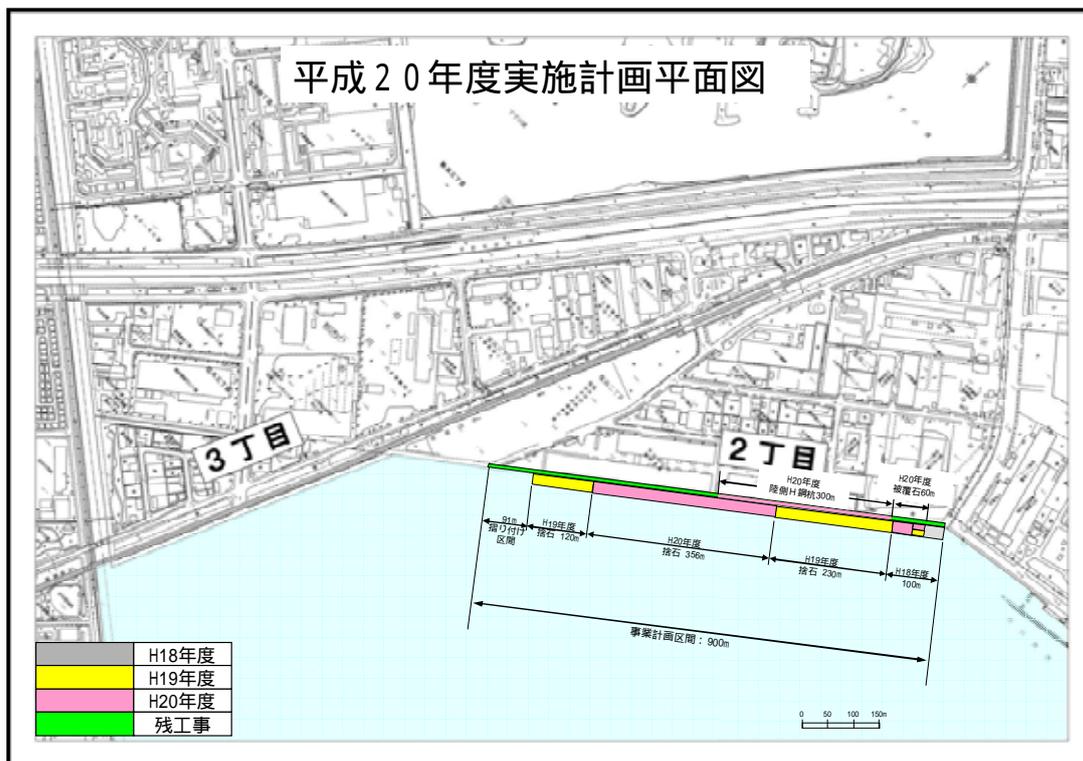
工事後のモニタリング結果としては、周辺海域への大きな影響は確認されず、生物の再定着についても順調に進んでいる状況が確認されております。

2、平成 20 年度の実施状況について

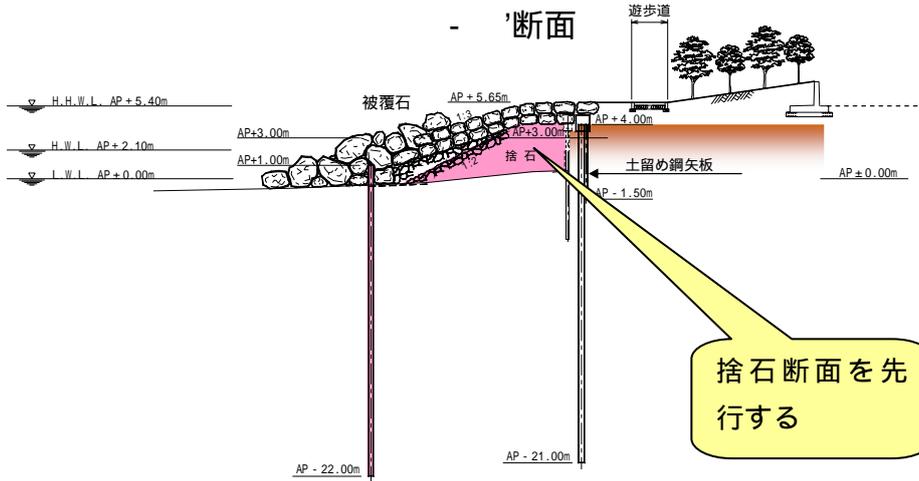
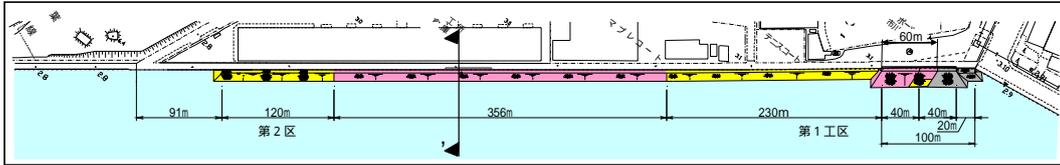
平成 20 年度の実施計画は、塩浜 2 丁目の中央部 356 m 及び東側 60 m の捨石工事、陸側 H 鋼杭 300 m 及び緑化試験、並びにこれに伴うモニタリング調査です。

このうち、捨石工事については 5 月から工事に着手したところです。残る工事についても順次着手するとともに、モニタリング調査を継続していきます。

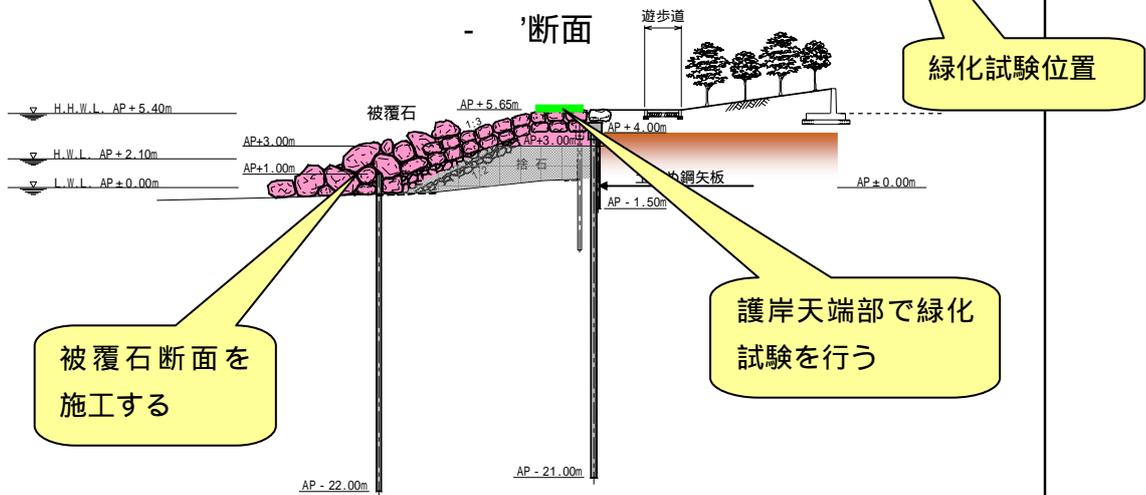
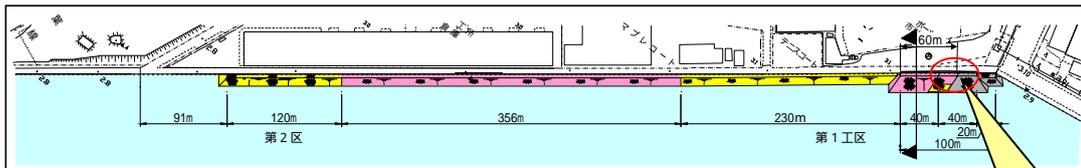
また、順応的管理手法に基づく事業の評価を行うとともに、より良い構造の工夫に努めたいと考えております。



断面図： - '断面



断面図： - '断面



(2)試験範囲（断面での位置）

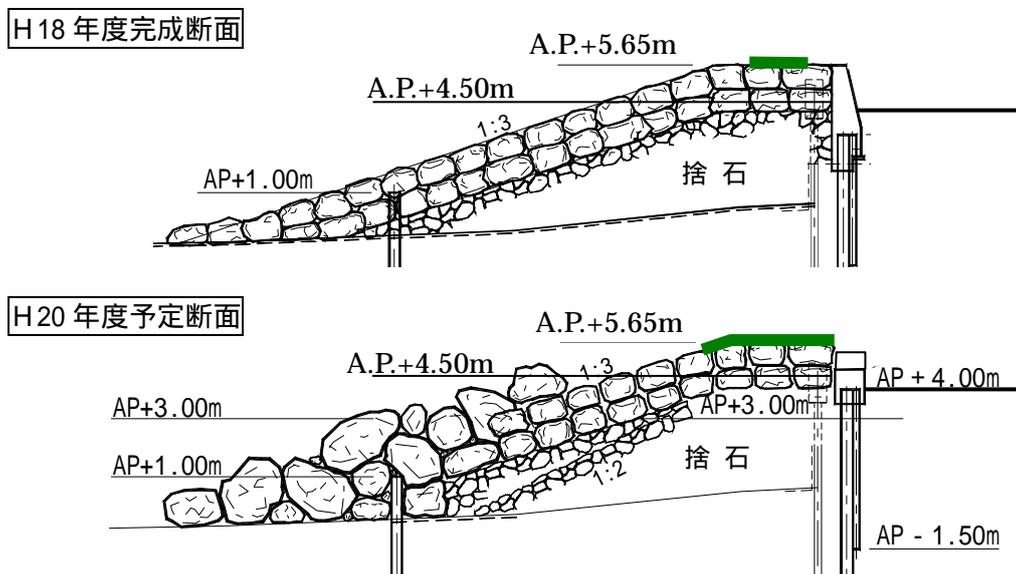


図 2-2 . 緑化試験の範囲図

3 . 試験期間

自：平成 20 年 8 月 ~ 至：平成 22 年 3 月

4 . 試験ヤード

(1)試験ヤード

発芽ヤード：植物の種の入った基盤をつくる箇所。

移植ヤード：植物の移植を行う箇所。

(2)基盤

近隣の海浜砂：入手可能な箇所の砂とする。

購入砂：一般土木資材としての砂とする。

基盤は現地近隣の海浜砂を使用する。また、近隣の海浜砂が本設時に供給量・供給時期等の問題により使用できないことを考慮して、購入砂による試験も併せて実施する。

ただし、近隣の海浜砂については、事前に土壌分析を実施し、安全が確認されたものを使用することとしているため、分析結果によっては近隣の海浜砂による試験は実施できない場合がある。

(4) 試験断面構造

H18 年度完成部

・植物繊維シート袋の基盤による断面計画

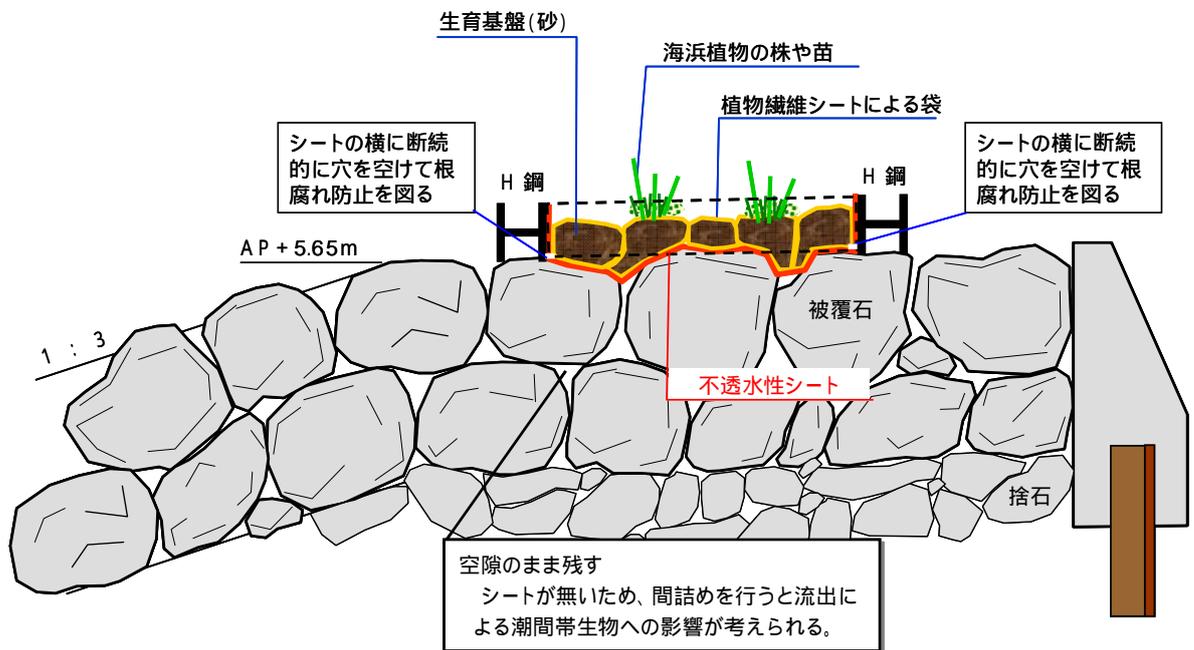


図 4-1 . 基本構造

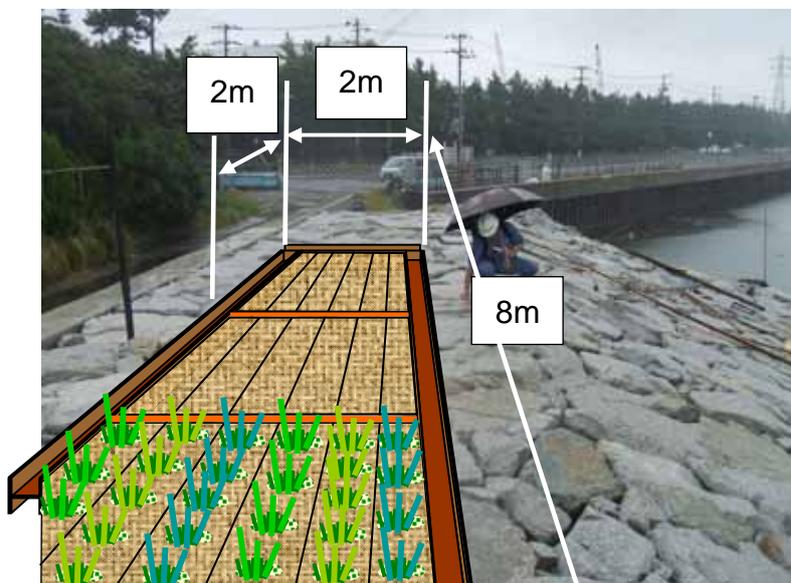


図 4-2 . 試験イメージ

H20 年度予定部

・砂の間詰めでの基盤による断面計画

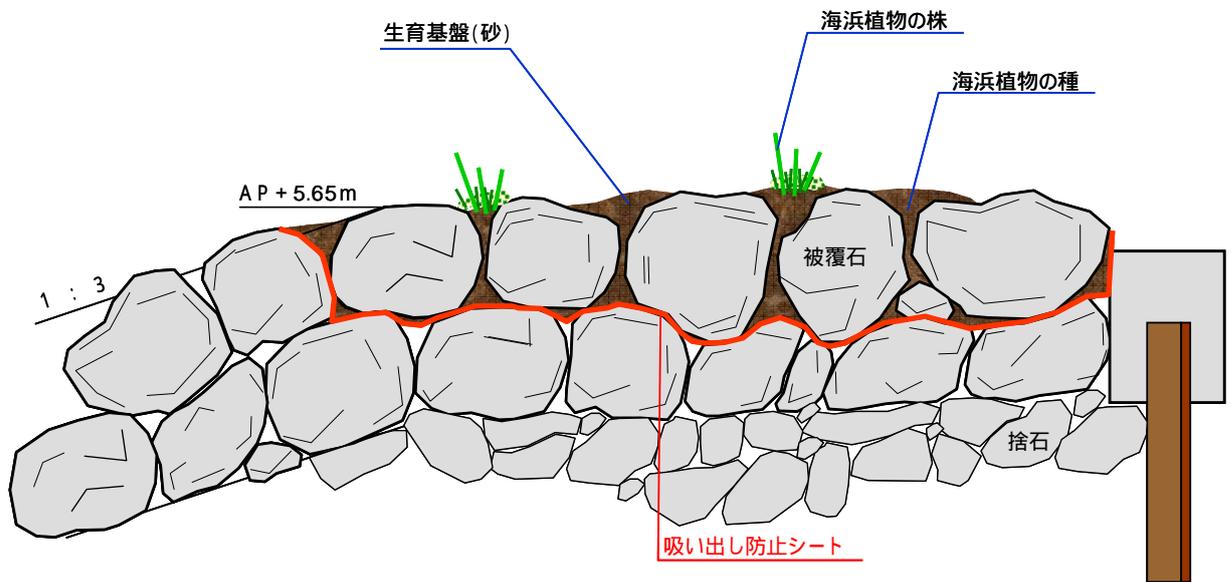


図 4-3 . 基本構造

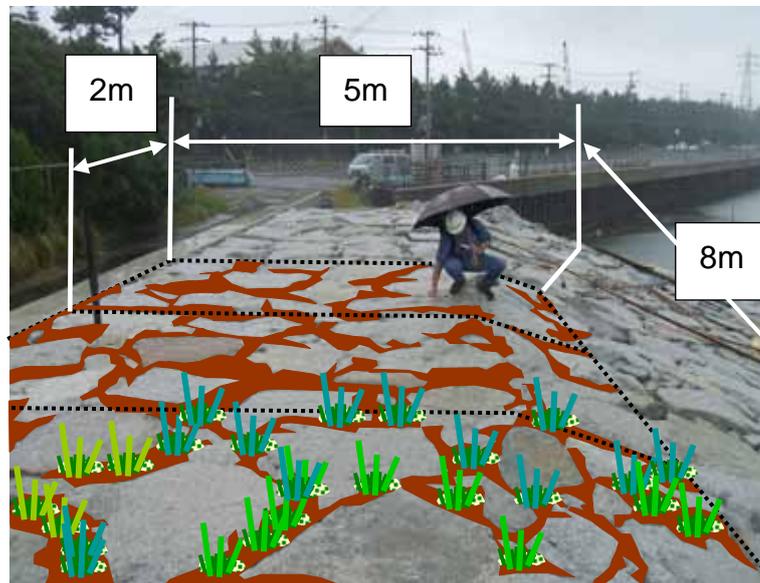


図 4-4 . 試験イメージ

5. 試験項目と内容

(1)砂の性状調査

本試験に用いる砂について土壌分析、粒度試験を行う。

(2)移植する植物調査

移植する植物については、船橋三番瀬海浜公園の植物の中から専門家へのヒアリング等を通して選定する。

(3)観察項目

- 1)発芽状況と種類
- 2)活着状況（生育健全度、成長量の調査を含む）
- 3)他の植物の侵入状況
- 4)基盤の保持状況
- 5)天候（日照、雨量、気温等） 天候について、近隣の測候所等のデータを用いるものとする。

(4)とりまとめ

観察記録

試験結果の評価

6. 工程

工程	H19年度			H20年度			H21年度			H22年度								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
三番瀬再生会議等(実施計画)	→決定			→決定			→決定			→決定								
モニタリング調査・影響評価	■			■			■			■			■			■		
海域工事(契約手続)	→			→			→			→			→			→		
海域工事(製作等手配)	■			■			■			■			■			■		
海域工事(現地施工)				■			■			■			■			■		

<試験計画>

緑化植物試験				■			■			■			■			■		
--------	--	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--

<凡例>

- 内容検討
- 基盤整備、植え込み等
- 観測
- 検証・評価
- 本施工

Aゾーン(H18年度完成部)
・基盤整備

Aゾーン(H18年度完成部)
・種まき

Aゾーン(H18年度完成部)
・移植
Bゾーン(H20年度予定部)
・種まき、移植

Bゾーン(H20年度予定部)
・基盤整備